

令和2年度事務事業シート(令和元年度決算)

事務事業名	日常生活用具給付等事業費	3A2A	施策	08 障害者支援	
根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		展開方向	08-3 地域における交流の促進や移動の支援など、障害のある人の社会参加を促進します。	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			昭和44年度
会計	01 一般会計		行政の取組	08-3-2 社会参加の促進	
款	15 民生費				
項	05 社会福祉費				
目	07 障害福祉費				
局	健康福祉局	課	障害福祉課	所属長名	田岡 清

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	障害者(児)及び難病患者に対し、日常生活の便宜を図り、福祉の増進に寄与することを目的とし、日常生活用具の給付、貸与を行い、他者との交流や外出など社会参加を促し、福祉の増進に寄与する。
事業概要	身体障害者(児)、知的障害者(児)及び難病患者に対し、日常生活用具を給付する。
実施内容	<p>【対象用具】 障害の種類、程度によって、給付を受けられる品目を規定している。 <給付対象用具(例)>(市民税額に応じた自己負担額あり) ○視覚 視覚障害者用ポータブルレコーダー、視覚障害者用拡大読書器、盲人用時計 ○聴覚 聴覚障害者用情報受信装置など ○下肢・体幹 便器、特殊マット、特殊寝台など ○内部 ネブライザー(吸入器)、電気式たん吸引器、ストマ用装具(蓄尿袋・蓄便袋)、紙おむつなど ※介護保険法優先。給付種目別に耐用年数あり。また、意見書が必要な場合もある。</p> <p>【令和元年度支給実績(主なもの)】 ストマ用装具(蓄便袋、蓄尿袋)10,060件、紙おむつ1,801件、電気式たん吸引器29件、特殊寝台25件、視覚障害者用拡大読書器23件、盲人用時計13件など</p>

②事業成果の点検

目標指標	給付件数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	件	
目標・実績	目標値	12,812	達成年度	令和2年度	平成29年度	10,211	平成30年度	10,043	令和元年度	10,390
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・排泄支援用具(ストマ用装具)を中心に日常生活用具の給付等により、在宅で生活している重度障害者等の生活面での自立度を高め、社会参加の促進を図ることができた。 ・いずれの品目も、給付実績には動きがあるものの増加傾向にあり、必要性や利用ニーズの高い品目を追加するなど、希望者に対しては一定の給付ができていていると考えているが、引き続き、安定的な事業運営に努めていくことが必要である。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・今後も高い実績が見込まれるため、引き続き、安定的な事業運営に努めるとともに、近隣市町とも連携を図りながら、利用ニーズの高い品目を追加するなど、定期的に見直しを行っていく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	平成30年度決算	令和元年度決算	(参考)令和2年度予算	備考
事業費 A	114,597	118,522	116,331	
扶助費	114,597	118,522	116,331	
人件費 B	5,167	3,227	4,628	
職員人工数	0.52	0.27	0.43	
職員人件費	4,122	2,115	3,342	
嘱託等人件費	1,045	1,112	1,286	
合計 C(A+B)	119,764	121,749	120,959	
Cの財源内訳				
国庫・県支出金	71,958			地域生活支援事業の補助対象事業であるが、補助金については、障害者(児)移動支援事業費に全額充当している。
市債				
その他				
一般財源	47,806	121,749	120,959	